

第14号(2021年)

会報 SPACESHIP EARTH

宇宙船地球号



特定非営利活動法人
奈良県国際交流振興会



体験・反復・継続



令和3年8月、コロナ禍が収束しない中、「小学生のための英語研修プログラム」を実施した。「こんな時期に児童を集め、会話(声を出す)の研修するなんて非常識だ」との批判を覚悟の上、感染防止対策を十分行って、批判を超えた研修会にしようが会員一同の思いであった。ただ、3月に北部で行った同研修会が好評であったため、その感動を南部でもとの思いであったが、コロナ対策で橿原市とその近隣地域に限定したことを申し訳なく思っている。

私の若い頃は、海外文化は書物から取り入れた。そのため外国語教育は読むために教えられた。外国人との対話は通訳を雇えばよいとのことであった。私は英、独、仏の三カ国語を学んだが、辞書を片手に読むことは出来ても会話力は全くゼロである。

現代社会は「ことば」で海外文化を吸収する。グローバル化が進行するにつけ、外国語で物考える社会になっていく。「ことば」は教えられるより、自然な形で学んでいく。体験・反復・継続は会話力だけでなく、その人柄を成長させる。この研修は「体験」の一つの場であり、楽しく学ぶ、友の輪が広がるを成果とし、反復、継続へと発展することを期待している。

国際社会に貢献できる人材育成と国際友好親善向上を目的とする本振興会は県内の協賛企業各社のご支援で運営されている。コロナ禍で暗い経済社会にあっても変わらぬご支援を賜った。私たちはその意に背くことなく県内の青少年への取り組みをより充実したものにすべく誓い合った。協賛企業各社に衷心より謝意を表します。ありがとうございました。

ところで、私は何かに行き詰まったとき、徒然草にヒントを得ている。芸を身につけようとする人に「下手なうちは恥かかぬよう人目を避けて練習し、上達してから人前に出ようとする人は多いが、そんな人に芸を身につけたためしはない。下手でもベテランに交わってバカにされたり、笑われても苦にせず平常心で頑張る人は、時を経て達人となり、人間性も増し、努力が報われる(徒然草 150 段の要約)。」

そう言えば、「恥駭処」なることばもある。頭中に知識を詰め込んでも役に立たない。未知のことでも行動し、周囲の人からの注意をイジメととらえず、感謝の気持ちで受け取れば、身についた知識が得られ、達人となる。お茶席で学んだことばである。ともに「学ぶ」ということについて、心すべきことであろう。

最後に本振興会の目的、取り組みに賛同していただける方々のご入会をお待ちしております。「一緒に活動しませんか!」

奈良県国際交流振興会理事長 天 根 俊 治

目 的

この法人は、県内の青少年及び教育関係者に対して、国際教育並びに相互文化交流の普及促進及び交換留学等留学の実践並びに発展向上に関する事業を行い、自国や他国の文化についての深い認識や広い理解を持ち国際社会に貢献できる人材育成並びに国際友好親善向上に寄与することを目的とする。

沿 革

設 立 平成15(2003)年4月

特定非営利活動法人認証 平成18(2006)年2月7日



令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会

1 事業の成果

例年、夏休みと春休みの年2回、県内の小中高生に対して、ホームステイによる異文化体験国際交流事業を実施してきたが、今年度はコロナウィルスの影響で、昨年度春休みのホームステイを中止したことに続き夏休み、春休みともに中止した。

「with コロナ」「after コロナ」の時代の活動の在り方を模索し、今年度は3月26日に奈良県教育委員会と共催で「奈良イングリッシュキャンプ」を奈良県立国際高等学校にて実施。小学生130名、中学生47名と多くの参加者を得た。このことから、コロナ禍で海外研修はできないものの、英語に触れる機会が求められていることが伺える、次年度は単独開催も視野に入れて、国内研修の実施に向けて活動したい。

今後も、世界で活躍する夢をもった子どもたちを応援し続け、国際社会に貢献できる人材を育て、国際交流、何より世界の平和に寄与できるように努力していきたい。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額(千円)
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	実施せず		0		0
	長期留学説明会	実施せず		0		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業	実施せず		7		57
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ説明会及びオリエンテーション	実施せず		7		57
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県内	6	県内小中高校	0
国際文化交流に係る教育研修事業	国内異文化体験教育研修事業	3月26日・27日	奈良県立国際高等学校	7	小学生130 中学生47	41
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	11月		5	ホームステイ参加者、保護者、教員	143

令和3年度事業計画書

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の範囲 及び予定人数
留学に係る普及促進及び支援事業	海外大学進学説明会	1月中旬	奈良市・橿原市	県内高校生
	長期留学説明会	〃	〃	〃
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	ホームステイによる異文化体験国際交流事業	4年3月	海外	県内小・中・高生 15名
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	ホームステイ説明会及びオリエンテーション	4年1月～3月	奈良市・橿原市	県内 小・中・高生
国際文化交流に係る調査研究事業	県内小・中・高の実態調査	随時	県内	県内各校
国際文化交流に係る教育研修事業	国内研修	8月3月	県内	県内小・中・高生
国際文化交流に係る刊行物発行事業	国際交流体験記及び会報誌の刊行	11月		ホームステイ参加者、保護者、教員

English キャンプ参加者保護者体験談

3年生保護者 熊 石 章 江

小学3年生の息子がISAに参加させていただきました。国際交流がこんな近くで小学生のために行なわれていることを知り、これは絶対に参加したいと思いました。1歳6ヶ月から英語は習わせていますが、こんな機会はあまりないので子供にとって良い体験だと思います。

担当していただいた先生の国アラスカの事や先生のアラスカでの生活のことなどをたくさん教えてもらったみたいで教えてもらったことを帰ってきてたくさん話してくれました。二日目は違う先生にも来ていただき、ジャマイカのことを教えてもらったそうです。ジャマイカと秋田県の面積がほぼ同じということも教えてもらって、今でも覚えています。ジャマイカにとっても興味を持ち行ってみたいと言っていました。ウサイン・ボルトに会いたいそうです。二日目の最後にした缶バッジ作りも楽しかったそうです。今回参加させていただいたことで、更に英語にも外国にも興味を持つことが出来、子どもにとってとても良い経験になりました。

またこういう機会があればぜひ参加させたいと思います。本人も参加したいと思っています。



4年生保護者 駒 井 清 香

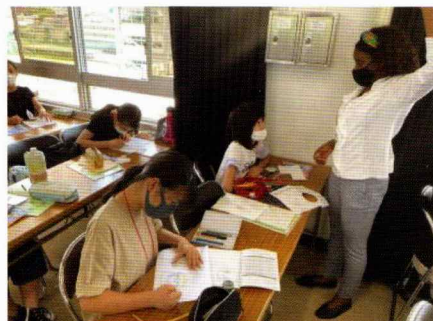
夏休みになる前のある日。小学校から娘が帰ってきた1枚の紙にまず私が興味を持ちました。英語に触れ合う環境がない我が家にとって英語に興味を持ってくれるチャンスになるのではないかと思います娘に「こんなのがあるよ!」と勧めてみました。すると娘は興味のない顔で「いいわー!」とつれない返事でした。それから数日がたち娘の方から「やっぱり行きたい。」と言われ気がかわらないうちにすぐに応募しました。仲のいいお友達に誘われたようでした。

夏休み中もコロナ禍真っ只中でもあり、子ども達に大きなイベントに行く機会もなかった為決行していただけのこのようなイベントは子どもにとってはもちろん私たち親にとってもとても有難いことでした。

夏休みも終盤にさしかかった頃、今回の『小学校のための英語研修プログラム』に参加しました。

初めて訪問させていただいた奈良芸術短期大学の佇まいに見惚れながらも娘は緊張していたのかいつもよりも口数が少なく私も心配になりました。集合場所に

行くと同じような境遇のお友だちがたくさんいました。受付を済ますと娘たちは教室に向かいました。5時間後、1日目のプログラムを終え戻ってきた様子は少し疲れた表情もありながらも何か新しい体験をした清々しい表情にも見えました。帰ってから話を聞くと、ひと言「楽しかった。」と。



二日目。そこは子どもの順応性の素晴らしさ。もう何日も何ヶ月も通っているかのような余裕の表情。昨日と同じように送り届け帰ってくるのを待ちました。さて二日間の体験を得て娘は何を学びどんな体験してきたのだろうか? 親はその場にいないので娘の表情や言葉でしかわからないのですぐに質問攻めでした。娘から出てきた感想は「緊張したけど違う学校の友達できたし楽しかった!」でした。あれ?? 私としては英語の感想が欲しかったのだけれど。いや、待てよ。そーゆーことか! 何よりも娘は楽しんでた! それが一番なのかも! 何を学ぶにも何をするにもまず根源に楽しむということ。そして新しい友が出来た喜び、そして刺激が大切であること。

今回このようなプログラムに参加させていただき私、親自身も久々に懐かしい再会をさせていただくことができました。親子共に幸せな刺激的な夏休みの終わりを迎えることができました。

また次回このようなプログラムがあれば是非参加させたいと思っています。

3年生保護者 坂 本 侑 里

まず、この様なコロナ禍において、素晴らしい国際交流の機会を与えてくださったことに本当に感謝しています。

親の私が、留学経験者であることで、英語は生きた英語に触れてほしい。このことだけは、譲れません。しかし、コロナ禍になり、外出はおろか、人と会話することがタブーとなってしまったのかと思う日々が続く、自分の意見を言葉にする機会が減ってしまったように感じています。

その時に研修プログラムの開催を知り、娘の



希望もあり、参加させていただく運びとなりました。

この時期の開催には本当に勇気がいったと思います。そのおかげもあり、生きた英語や様々な国の方と触れ合う楽しさを身をもって体験することができました。本や教科書では伝わらない、国の良さ、言葉、表情やジェスチャー。

子どもは近くにいる大人の影響を直に受けると思います。世界で色々なことが起こっていて、目や耳を背けたくなることも多々あります。でも、子どもが肌で

感じたことは、大人になる過程で大きな糧になるだろうなと期待しています。

何よりもうれしかったのは、2日間のプログラムを終えて、娘に言われた一言。

「ママー、私、聞き取れない単語もたくさんあったけど、聞き取れた単語もたくさんあったよ。なんだか、英語を話そうとすると、恥ずかしいとか感じなかったよ。」私が20年ほど前に感じた事と同じことを今子どもが感じてくれています。

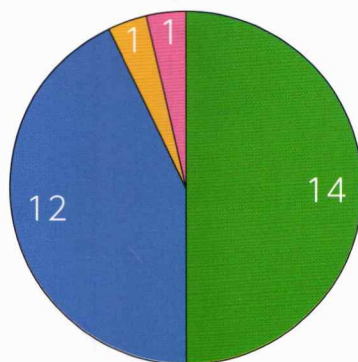
2021年夏 奈良県小学生のための英語研修プログラムアンケート結果

《28名(40人中)にアンケートをお答えいただきました》

◆プログラムに参加して、総合的にどのくらい満足していますか？



オーストラリアのお金を見ている様子

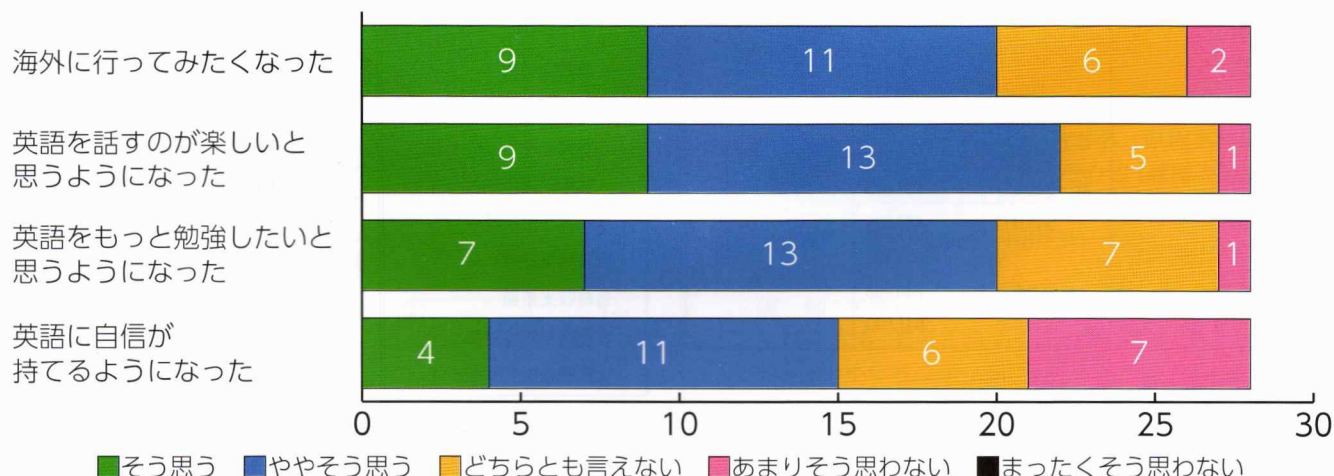


- とても満足
- やや満足
- どちらとも言えない
- やや不満
- とても不満

〈参加者の保護者様に聞きました〉

- 新しい友達もでき、何より本人が次も参加したいと言ってくれたので、参加して良かったと思っています。
- 遊び感覚で英語に触れる事が出来たので、普段英語に接する事のない娘にとっては、あまり身構えず取り組みめたのが良かったと思います。
- 学校以外で英語に触れる事がないので、とても良い機会になったと思います。文法など、試験対策の英語ではなく、日常的な英語に触れて欲しかったので、満足しています。
- 参加してとても楽しかったと言うてました。また来年もあるなら参加させたいです。

◆プログラムを通して、ご参加者様の中で変化はありましたか？





会計収支計算表

令和2(2020)年度 特定非営利活動に係る事業会計活動報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科 目	予 算	決 算	備 考
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
正会員			
個人会費	45,000	36,000	会員数 12
賛助会員			
団体会費 個人会費	500,000	390,000	会員数 8
計	545,000	426,000	
2 事業収入			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	0	0	
国際文化交流に係る刊行物発行	0	0	
計	0	0	
3 その他収入			
雑収入	0	3	利息
計	0	3	
経常収入合計(A)	545,000	426,003	

II 経常支出の部			
1 事業費			
留学に係る普及促進及び支援事業	0	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	60,000	56,732	通信費、印刷費等
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	55,000	57,395	雑費
国際文化交流に係る調査研究事業	0	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	40,000	4,736	会議費、通信費
国際文化交流に係る刊行物発行	150,000	143,220	会報誌印刷代
計	305,000	298,083	
2 管理費			
事務所管理費	10,000	9,360	電気代
旅費交通費	100,000	58,960	事務所交通費
通信費	20,000	15,159	電話代
雑費	30,000	33,036	お中元等
租税公課	80,000	71,000	法人県市民税
計	240,000	187,515	
経常支出合計(B)	545,000	485,598	
当期収支差額(C)=(A)-(B)	0	△ 59,595	
前期繰越収支差額	700,638	700,638	
次期繰越収支差額	700,638	641,043	

令和3(2021)年度 特定非営利活動に係る 事業会計予算書

令和3年度4月1日から令和4年3月31日まで
(特定非営利活動法人 奈良県国際交流振興会)

科 目	金 額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入		
正会員		
個人会費・入会金	45,000	
賛助会員		
団体会費・入会金	500,000	
計	545,000	
2 事業収入		
留学に係る普及促進及び支援事業	0	
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	0	
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	0	
国際文化交流に係る調査研究事業	0	
国際文化交流に係る教育研修事業	0	
国際文化交流に係る刊行物発行	0	
計	0	0
経常収入合計		545,000

II 経常支出の部			
1 事業費			
留学に係る普及促進及び支援事業	0		
国際文化交流に係る普及促進及び支援事業	30,000		
国際教育の普及促進及び支援事業並びに人材育成事業	25,000		
国際文化交流に係る調査研究事業	0		
国際文化交流に係る教育研修事業	100,000		
国際文化交流に係る刊行物発行	150,000	305,000	
2 管理費			
事務所管理費	10,000		
会議費	50,000		
旅費交通費	50,000		
通信費	20,000		
雑費	30,000		
租税公課	80,000	240,000	
経常支出合計			545,000
経常収支差額			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			641,043
次期繰越収支差額			641,043



事業概要

実施年	実施月	研修地	参加者数
平成15年	8月	ニュージーランド(小中)	25名
平成15年	12月	オーストラリア(小中)	10名
平成16年	3月	カナダ(中高) イギリス(中高)	24名 26名
平成16年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	51名 42名
平成17年	3月	カナダ(中高) イギリス(中高)	12名 26名
平成17年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(高)	49名 18名
平成18年	3月	オーストラリア(小中高) イギリス(中高)	42名 19名
平成18年	8月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	30名 26名
平成19年	3月	カナダ(中高) オーストラリア(小中高)	11名 19名
平成19年	8月	ニュージーランド(小) オーストラリア(中)	19名 21名
平成20年	3月	ニュージーランド(小中) オーストラリア(中高)	13名 17名
平成20年	7月	ニュージーランド(小中) アメリカ(中高)	27名 18名
平成21年	3月	オーストラリア(小中高)	19名
平成22年	3月	ニュージーランド(小中) イギリス(中高)	13名 17名
平成22年	8月	ニュージーランド(小) オーストラリア(中高)	6名 19名
平成23年	3月	カナダ(小中) イギリス(中高)	20名 16名
平成23年	8月	オーストラリア(小中)	13名
平成24年	3月	イギリス(中高)	29名
平成24年	8月	ニュージーランド(小中)	19名
平成25年	3月	オーストラリア(小中) イギリス(中高)	14名 20名
平成25年	8月	ニュージーランド(小中高)	9名
平成26年	3月	イギリス(中高)	22名
平成26年	8月	イギリス(中高)	18名
平成27年	3月	カナダ(小中) イギリス(中高)	13名 16名
平成27年	8月	ニュージーランド(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高)	4名 4名 4名
平成28年	3月	イギリス(小中) ニュージーランド(中高) ニュージーランド(小中)	12名 7名 9名
平成28年	8月	アメリカ(中高) イギリス(中高)	8名 5名
平成29年	3月	イギリス(中高) カナダ(小中高)	13名 13名
平成29年	8月	オーストラリア(小中高) アメリカ(中高) カナダ(小中高)	5名 4名 5名
平成30年	3月	オーストラリア(小中) アメリカ(中高) イギリス(中高)	6名 2名 3名
平成30年	8月	オーストラリア(小中) ニュージーランド(小中) カナダ(中高)	4名 5名 7名
平成31年	3月	オーストラリア(小中高) イギリス(中高)	4名 13名
令和元年	8月	アメリカ(小中高) オーストラリア(中) カナダ(小中高) ニュージーランド(小高) シンガポール(中) イギリス(中高) マルタ共和国(高)	9名 6名 9名 5名 1名 5名 2名

参加者合計 1,002名

I 異文化体験国際交流研修(海外ホームステイ)

*平成15年度以降、県内の小学校5年生～高等学校3年生を対象に左記のとおり実施

II 異文化体験国際交流研修(国内研修)

実施年	実施月	研修名	研修場所	校種	参加者数
平成18年	12月	国内合宿	奈良ユースホステル	小	13名
平成19年	5月	国内合宿	国立曽爾少年の家	小	60名
令和元年	6月～10月	イングリッシュキャンプ	大阪、京都、福山、滋賀	小中高	57名
令和2年	3月	奈良イングリッシュキャンプ	奈良県立国際高等学校	小中	177名
令和3年	8月	英語研修プログラム	奈良芸術短期大学	小	40名

国内研修参加者 347名

III 教育講演会

第1回教育講演会(設立記念)

日 時:平成15(2003)年5月25日(日) 14:00～

会 場:桜井市立図書館・研修ホール

講 師:岡 秀夫(東京大学大学院・総合文化研究科教授)

参加者:教育関係者・市民・生徒等約150名

第2回教育講演会・シンポジウム

日 時:平成18(2006)年5月14日(日) 13:00～

会 場:奈良県社会福祉総合センター

講 師:直山木綿子(京都市総合教育センター指導主事)

パネラー:ALT 1名、小中高教員4名

参加者:小学校教職員等 約50名

IV 教員研修講座

第1回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成17(2005)年8月18日～19日

場 所:ホテル アウィーナ大阪

講 師:高島英幸(東京外国語大学教授)

ワークショップ講師:県内ALT 3名 県内高校教諭 5名

参加者:小学校教員15名 その他(講師等) 合計約40名

第2回小学校「英語活動」担当教員宿泊研修

日 時:平成18(2006)年8月20日～21日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT 3名 県内高校教諭 5名

参加者:小学校教員24名 その他(講師等) 合計約40名

第3回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成19(2007)年8月5日～6日

場 所:春日野荘

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

ワークショップ講師:県内ALT 3名 県内高校教諭 4名

参加者:小学校教員 25名 その他(講師等) 合計約40名

第4回小学校「英語活動」担当教員研修会

日 時:平成20(2008)年8月5日～6日

場 所:橿原観光ホテル

講 師:文部科学省教科調査官 菅 正隆

実践発表者:奈良市教委指導主事、葛小、旭ヶ丘小教諭

参加者:小学校教員 50名



*後援：奈良県教育委員会、奈良県都市教育長協議会、奈良県町村教育長会、奈良県小学校長会、奈良県中学校長会、奈良県高等学校長協会、奈良県私立中学高等学校連合会、奈良県PTA協議会、奈良県高等学校PTA協議会、奈良新聞社、奈良テレビ放送、まちづくり国際交流センター

賛助会員になって頂いた法人・企業名

(株)アイエスエイ	(株)中井メリヤス
アスカ美装(株)	奈良交通(株)
小山(株)	奈良豊澤酒造(株)
三和住宅(株)	奈良トヨタ自動車(株)
佐藤薬品工業(株)	(株)南都銀行
(株)新興出版社 啓林館	野村證券(株)奈良支店
大光宣伝(株)	(株)藤井書房
大同薬品工業(株)	吉岡印刷(株)
(株)高木包装	

(五十音順・敬称略)

令和2年度 役員名簿

役 名	氏 名
理 事 長	天 根 俊 治
副 理事長	内 田 リカコ
副 理事長	日 高 容 子
理 事	荒 井 敦 子
理 事	今 治 賀洋子
理 事	國 柄 由紀子
理 事	谷 垣 康
理 事	西 川 裕 子
理 事	根 来 群 二
理 事	八 代 英 美
理 事	松 井 秀 史
理 事	山 下 幸 江
理 事	山 原 雅 弘
監 事	笹 岡 健 司
監 事	寺 嶋 敏